

表4 文久2年(1862)の宮崎屋の家屋敷

種類	場所	面積	建物	家賃(匁)
居宅	水夫屋敷	6畝21歩	建屋1軒、土蔵3箇所、 三階土蔵1箇所、供部屋 二階附1箇所	
花屋旧宅	水夫屋敷	2畝17歩	建屋1軒	
宮野屋貫蔵貸宅	水夫屋敷	1畝17歩	建屋1軒	350
榊屋久助貸宅	水夫屋敷	27歩	建屋1軒	220
明屋敷	水夫屋敷	2畝26歩		
三和屋広助・黒崎屋次郎吉貸宅	水夫屋敷	4畝9歩	建屋1軒	630
大野屋金助・長浜屋五助貸宅	水夫屋敷	1畝6歩	建屋1軒	260
藤屋庄八貸宅	船頭屋敷	21歩	建屋1軒	125
八浜屋力蔵貸宅	神田屋敷		建屋1軒	165
大黒屋儀右衛門・西屋実蔵貸宅	神田屋敷		建屋1軒	330
島田屋常長・浜屋喜兵衛貸宅	畑	1畝10歩	建屋1軒	490
	畑	10歩	建屋4軒	346.25

典拠：倉敷市所蔵井上家文書3-16-13-3「家屋敷書抜」